

4歳児教育課程(Ⅲ期～Ⅳ期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月期	6	7	8	9	10
	Ⅲ期			Ⅳ期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と同じことをしてみたり、触れ合うことを楽しむ姿が見られる。</li> <li>・砂、泥、土、水などでの遊びを全身を使って思いきり楽しんでいる。</li> <li>・虫(だんごむし、アリ、ヤゴ、おたまじゃくし、ちょうちょ、トンボなど)を捕まえて、みんなに見せたり飼育、観察をする。</li> <li>・好きな遊びが少しずつ持続し、繰り返して行うようになってきている。</li> <li>・身辺整理(ぬれた衣服の始末、プールの時の着替えの後始末)を自分でやってみようとする姿や、できたことを喜んで保育者に報告する姿が見られる。</li> <li>・自分の思いを出せるようになったことにより、友達と衝突することも多く起こるが、保育者や友達の仲立ちにより解決もできる。</li> <li>・慣れてきて、集まりの時など自己主張が激しくなり椅子に座れない時もある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みにした経験を通して自信をつけ、様々な活動に積極的に取り組む子どももいれば、戸惑いや不安を感じ、友だちと交わって遊ぶのに時間がかかる子どももいる。</li> <li>○夏休みに体験したことを、園での遊びや表現活動に取り込む姿が多く見られる。</li> <li>○友達との関わりが広がる中で、お互いの思いが違うためにぶつかりあうこともあるが、子どもたち同士で解決しようとする姿が見られる。</li> <li>○虫や植物などの自然に興味を持ち、夢中になって遊ぶ子どもも多く、そこから新たな友だち関係が広がる姿もみられる。</li> </ul>	
ねらい	○夏の遊びや生活を楽しむ			<ul style="list-style-type: none"> <li>○園生活のリズムを取り戻し、安心して遊びに取り組む。【健康】</li> <li>○経験や感動したことを遊びのなかで表現する。【表現】</li> <li>○体を動かして遊ぶことに興味を持つ。【健康】</li> </ul>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水、土、砂などで心を開放して遊ぶ。【表現】</li> <li>・いろいろな水遊びやプール遊びをする。【環境・表現】</li> <li>○梅雨期の中で体調を崩さないようにする。【健康】</li> <li>・夏の過ごし方を知る。【健康・環境】</li> <li>○七夕を知る</li> <li>・七夕飾りを作る【表現】</li> <li>・短冊に願いを託す【言葉】</li> <li>・七夕、お星さまの歌を歌う【表現】</li> <li>○夏の自然に親しむ</li> <li>・虫捕り【環境】</li> <li>・空、雲の様子を見る【環境】</li> <li>○夏休みを迎える</li> <li>・保育室の掃除をする。【環境】</li> <li>・園庭のおもちゃをきれいに洗って棚に整理して収める。【環境】</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの経験を話したり聞いたりして伝え合う。【人間関係・言葉】</li> <li>・絵を描いたりごっこ遊びなどで表現する【表現・人間関係】</li> <li>○身の回りの始末などの生活習慣を見直し、自分でしようとする。【健康】</li> <li>・手洗い、うがいをきちんとする。・トイレを正しく使う(スリッパをはく・揃える、水を流す、手を洗う、自分のタオルで拭くなど)</li> <li>○友だちと一緒に考えたり試したりして遊ぶ楽しさを味わう【人間関係】</li> <li>○敬老の日を知り、おじいさんおばあさんのことを思い、手紙を作る。【人間関係・言葉・表現】</li> <li>○おじいさんおばあさんを幼稚園に招き、ふれあいの時を持つ。【人間関係】</li> <li>・ハガキを作り、ポストに投函しに行く・祖父母を園に迎え、一緒に遊ぶ・ホールで歌う「山の音楽家」「イエス様って呼んだら」</li> <li>○自身を十分に動かして遊ぶ楽しさを味わう。【健康】</li> <li>○みんなで一つの目的を持って取り組んだり挑戦したりする。【人間関係、健康、表現】</li> <li>・2人組になる、手をつないで並び、列になって歩く・かけっこ、表現、親子競技</li> <li>・体操・うた など</li> <li>○運動会を楽しむ。</li> <li>・表現する。・競技に参加する。・他学年の表現競技を見る。【健康・表現・人間関係】</li> </ul>	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨期はテラスでの遊びや室内での遊びが充実できるよう特に気をつけたり、運動遊びのできる遊具を取り入れたたり、ホールを順番に使うようあらかじめ用意しておいたりして、落ち着いて遊べるように配慮する。</li> <li>・保育室等の気温、湿度を把握し、昼食時などは空調を調節して心地よく過ごせるようにする。</li> <li>・外遊びでは帽子をかぶるよう促したり汗をかいたら自分でタオルで拭いたり、着替え等の声をかける。また自分で水分補給できるよう保育室にお茶を十分に用意しておく。</li> <li>・体全体で水や土や泥に触れて心も体も開放して遊べるよう環境を整える。シャワーや足洗い用のタイヤや足拭きマット、タオルなどを準備し、気温や天気に応じて早めに切り上げたりする。</li> <li>・プールでの水遊びは水温や水質をチェックし衛生に気を配り、プール遊びの最中は安全面に気をつけ必ず保育者の目があるように話し合っておく。全体を見るようにする。</li> <li>・気温差や疲れなどから体調を崩しやすい時期でもあるので、一人ひとりの健康状態を把握しておく。</li> <li>・蚊が多く出る季節なので虫除けスプレー、蚊取り線香、虫さされの薬も用意しておく。</li> <li>・捕まえた虫を飼育、観察できるようあらかじめ準備しておいたり、名前や生態などを調べられるよう図鑑や昆虫や水中の生き物の絵本なども置いておく</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○厳しい残暑が続くため、熱中症対策をしっかりとる。(帽子をかぶる、日陰で遊ぶ、頻繁に水分補給、こまめに汗を拭く、着替えるなどの声かけ、十分なお茶の準備、室温調節、砂埃がたたないよう園庭に水をまく、など)グラウンドに行く時は特に気をつける。天候によっては、グラウンドに行く計画を変えるなど子どもたちの体調を十分に考慮しながら保育を進める。</li> <li>○朝の視診や遊びの中での様子をよく見て、一人ひとりの健康状態や精神状態に注意し、適切な関わりができるようにする。</li> <li>○長い夏休み明けで友だちの中に入りにくい子や、遊びを見つけれない子が、登園してすぐに遊びやすいようなオモチャや素材を準備し、安心できる場作りをこころがける。また、保育者がゆったりと過ごし、慌ただしくならないようにしながら、全体の様子にも目を配り一人ひとりと目を合わすなどしてみんなが安心して過ごせるようにする。</li> <li>○虫かごを用意したり、図鑑を並べておくなど子どもたちが自由に使ったり、調べたりして虫に親しめる環境をつくる。子どもたちの自然の変化についての発見に保育者も共感し、集まりで紹介するなどして、みんなで分かち合う。</li> <li>○実習生がたくさん来園するので、多くの人手があるからこそできる遊びや活動を取り入れたたり、特定の子どもの傍についてもらうなど、実習生の動きも計画に入れて考え、保育者の意図を伝えながらしっかりと連携をとって保育ができるようにする。</li> </ul>	